

サン&ハート♥雇用支援センターだより



就活コスメ

ワークショップ始まる!

当センターの就労移行支援事業のプログラムとして「就活コスメワークショップ」を始めました。この日は、洗顔・化粧水などによるスキンケアをメイクセラピストの方々に教えてもらいました。採用を勝ち取るには、そして社会人として働くには、「身だしなみ」はやはり大切な「社会的スキル」になります。

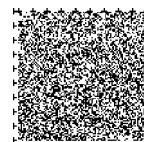
この日から毎朝スキンケアをするようになったある女性の利用者さん。習慣になったのは、「就職の為」というだけでなく、自分がきれいになる楽しい気持ちもあつてのことかもしれません。

この気持ちを忘れずに日々明るく前向きになって、実習・面接へと挑戦していくことでしょう。



「ほっ」とできるハートサロン開催中! 1
障害者就労支援センター事業からのお知らせ 2
就労移行支援事業からのお知らせ 3

修了生の声 (Vol.3) 4
企業担当者様へインタビュー (その式) 4
ミニ見学会を開催(お知らせ) 4



障害者就労支援センター事業

ひとりではありません!「働きたい」あなたを支えます。

～センターの就職支援の流れ～

就職支援について

「働きたい!でもどうしたらいいんだろう?」と悩んでいませんか?そんなあなたを支えてくれるのが就労支援機関です。ハローワークで相談するところから、就職して働き続けるところまでサポートします!!就職支援の流れについてご紹介します。



働きたいと思ったら?

まずはセンターへ
電話等で連絡、相談

センターへ登録して
いただき支援開始

ハローワークで相談

仕事の紹介を受ける

企業見学

実習(体験)

面接

就職

初回相談の後、継続的な支援を希望される場合は、ご本人同意の上でセンターに登録をしていただき、支援を開始します。

★相談、支援に費用はかかりません。

ハローワークには障害者の皆さんの為の相談窓口があります。働くためにはどうしたらよいか相談します。

ハローワークで求職登録を済ませるとハローワークの職員と一緒にあなたに合う企業を探します。

気になる求人が出てきたら、ハローワークで見学の依頼をしてもらいます。求人票だけでは分からないところや現場の人と会って確認できるチャンスです。

※企業によっては、見学・実習の受け入れ不可場合があります

実際に体験実習を依頼します。採用想定で現場で実習します。企業の求める適性や能力や技術を実際に確認できます。

次回は職場定着支援を紹介します!!

長期にわたって就労を継続できるようになることを目指し支援いたします。

障害者雇用支援センターの支援

Q. ハローワークの使い方が分からない...

A. 支援員が同行して一緒に相談しますので安心。求職登録手続きからでもサポートします。

Q. 何を相談したらいいんだろ?

A. あなたの希望と会社条件をもとに支援員と一緒に考え相談します。

Q. 一人で企業見学は不安だなあ...

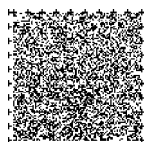
A. 支援員も同行できますので安心です。

Q. 実習は何をするんだろう?

A. 実習支援に支援員も入ることも可能です。通勤が問題ないか、職場の人とうまくやっていけるか確認します。

Q. 面接が不安 どうしよう...

A. 履歴書作成のお手伝いや面接練習、面接同行するので安心です。



就労移行支援事業

就労移行支援事業の取り組みをご紹介します

JSTプログラム

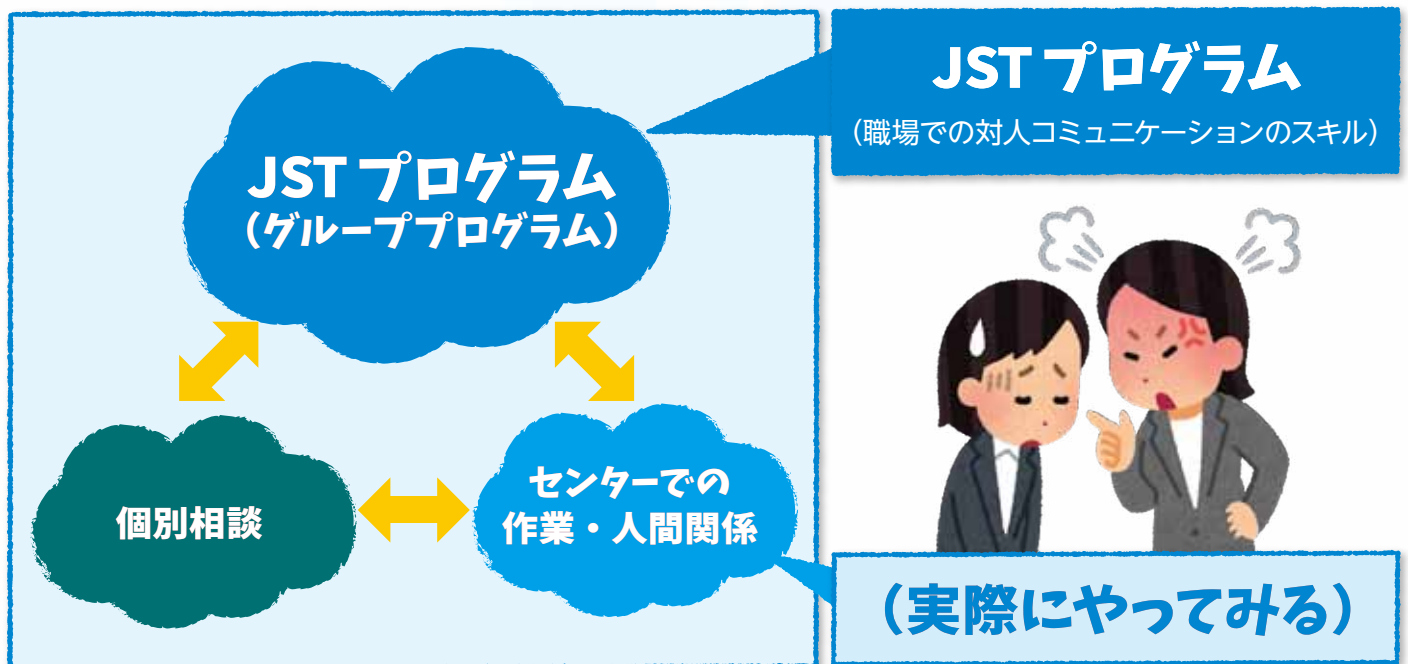
～職場での対人技能を身につけるために～



退職の原因の多くが人間関係に関連しているといわれています。

そのため、仕事ができるかどうかということはもちろん大切なことですが、安心して長く働き続けるには、職場での対人関係やコミュニケーションのあり方が大きく影響すると思われます。

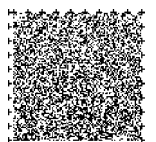
JSTという言葉は「仕事に関する技能のトレーニング (Job related Skills Training)」の略称で、職場での対人コミュニケーションのスキルに焦点をあててトレーニングを行うものです。障害者雇用支援センターの就労移行支援事業では、このJSTプログラムを活用して職場での実際の場面を想定したロールプレイや、自己理解を深めるためのグループワークをおこなっています。



例えば、JSTのテーマには「残業を引き受ける」というテーマと「残業を断る」という対照的なテーマがあります。責任感の強い方が多く参加するグループワークでは「残業を断る」ことが良くないことだという意見がたくさん出ます。しかし、安心して長く働き続けるには、「残業を断る」ことが必要なこともあるかもしれないことを皆で考えていきます。そして、「上手に断る」ことができるようにロールプレイで実際にやってみます。

また、JSTプログラムの時間だけでなく、作業時間や休憩時間など、毎日当センターに通う生活の中で同じような場面があった際には、JSTで考えたことを思い出しながら実際に試してみます。これを繰り返すことで、センターを修了し、就職した後、職場で自らが対応できる力が身につくことを目指して支援をしていきます。

(JSTは(独)高齢・障害・求職者雇用支援機構が開発したプログラムです。「多様化する個々人の特徴や環境に適ったJST」となるよう改良が続けられています。)



雇用支援センターからのお知らせ

修了生の声 Vol.3

[株式会社パロマ]で働いてます。(Kさん)

＼企業のご紹介／1911年(明治44)の創業から、ガスビルトインコンロ・ガステーブルコンロ・ガス給湯器・ガス湯沸器・ガス炊飯器をはじめ家庭用から業務用まで様々なガス機器の製造販売・アフターメンテナンスを行っています。



仕事内容 本社 CS 部にて PC 入力、事務補助等

K さんからひとこと 『高校を卒業して働いていましたが、その会社ではなかなか理解を得られることもなく、苦しいまま契約満了となり雇用支援センターを利用することになりました。』職場見学や実習をしたうえでパロマに就職できたことがよかったです。職場の皆さんの協力があるのでずっと頑張っていきたいです。

職場からのひとこと 部内の雰囲気には、すっかり馴染んで仕事をしています。社員からの依頼に従って仕事をすすめる力があります。たいへん助かっています。

企業担当者様へインタビュー その3

東京海上ビジネスサポート株式会社名古屋支社長 前沼様

＼企業のご紹介／東京海上グループの特例子会社です。現在障害のある方 30 数名が事務補助や軽作業などの作業をして働いています。

●障害者雇用について大変なところは？

手帳の種類や診断名ではなく、共に働く中で知り得る、彼らの「真の」強みと弱みに応じた支援方法を常に模索し続けているが、正解がなかなか見つからず日々苦慮しています。

●皆さんの働きぶりは？

得意分野に対する集中力と目標達成への前向きさには日々驚かされています。あまり得意ではない業務でも、ルールや手順を明確にし、ダブルチェック体制を強化することで、ミスはほとんどなく、安心して任せることができています。

●支援機関と関わることでの特長は？

職場は訓練の場ではないため、『社会人としての一般的なマナー』を支援機関で訓練頂き、習得した後に入社してもらえるのは大変有難いです。

また、会社では『家庭内やプライベートに関すること』のサポートには限界があるため、『支援機関』『家庭』のご協力が不可欠であり、彼らの安定した長期就労に繋がるものと確信しています。

●障害者雇用について会社としての目標は？

法定雇用率達成のための採用ではなく、「やりがいを見出せる仕事の質と量を整えた上での採用」を常に意識した業務の洗い出しと、更なる雇用拡大を永続的にを行います。



ミニ見学会を開催！

ご本人・ご家族向けに、
就労支援機関を知って
いただく会を開催しています。



日時 (時間は全て:11～12時)
H30 9/21(金)・10/22(月)・11/21(水)・12/20(木)
H31 1/22(火)・2/21(木)・3/22(金)

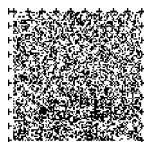
場所 名古屋市障害者雇用支援センター

内容 ●事業説明(障害者雇用支援センターとは?)
●ビデオ上映(働く様子) ●センター見学

申込み方法 開催日の3日前までに電話またはFAXでお申し込みください。(お名前と人数、連絡先をお伝えください)

電話:052-678-3333 FAX:052-683-5250

ご都合が合わない方も、随時の対応をさせていただきます。



編集・発行

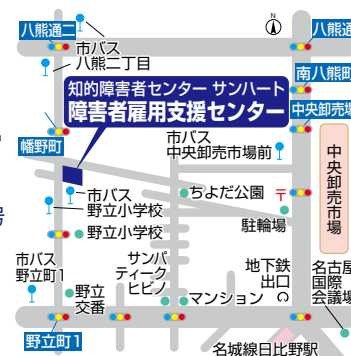
名古屋市障害者雇用支援センター

〒456-0073
名古屋市熱田区千代田町20番26号

TEL 052-678-3333
FAX 052-683-5250

http://www.nagoya-koyosien.jp
E-mail: koyoshien@nagoya-shakyo.or.jp

実施事業:
指定就労移行支援事業(2311100370)
障害者就労等の相談支援事業



- 地下鉄名城線「日比野」駅
3番出口から徒歩10分
- 市バス「野立小学校(サンハート前)」
下車徒歩1分